SCSK

平成26年3月期

中間報告書

平成25年4月1日から平成25年9月30日まで

夢ある未来を、共に創る

SCSK株式会社

証券コード：9719

株主の皆様へ

株主の皆様には平素格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社第46期上半期(平成25年4月1日～平成25年9月30日)の事業概況等につき、ご報告申し上げます。

今後とも、株主の皆様のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 兼 COO
大澤 善雄

代表取締役会長 兼 CEO
中井戸 信英

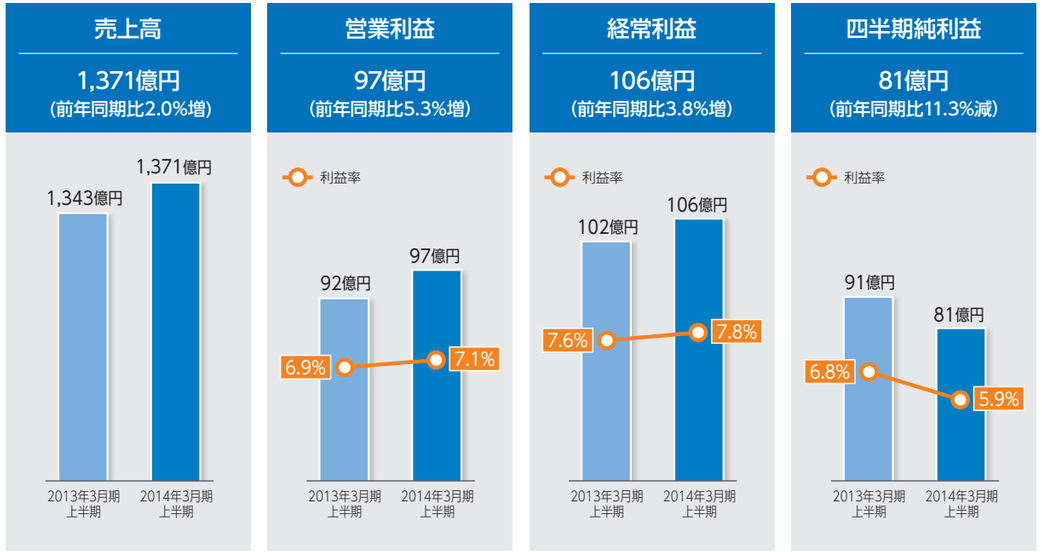
contents

1 …… 株主の皆様へ
2 …… 2014年3月期上半期連結業績の概要
3 …… 基本事業戦略の推進状況及び人を大事にする施策について
5 …… セグメント概要
7 …… 連結貸借対照表／連結キャッシュ・フロー計算書
8 …… CSRへの取り組み
9 …… 株式情報
10 …… 企業情報

2014年3月期上半期連結業績の概要

当上半期における当社グループの事業環境は、総じて堅調であり、年初来の株式市場の活況や企業の景況感の改善等を背景に、顧客企業のIT投資に回復傾向が見られ、システム開発案件を中心に投資需要は堅調に推移しました。金融業における経営統合を巡る大型のIT投資が堅調に推移するとともに、製造業における生産・販売活動の強化やグローバル化対応等、戦略的なIT投資需要が顕在化しております。併せて、一層の業務効率化・生産性向上を目的とする各種クラウド型ITサービスの需要が拡大しており、また、BCP (事業継続計画)・ディザスターリカバリー (災害復旧) 対策を中心にしたデータセンターの利用ニーズも拡大基調を続けております。

業績につきましては、売上高は、金融業等におけるシステム開発が堅調に推移し、前年同期比2.0%増の1,371億円となりました。営業利益は、増収に伴う増益ならびに経費の効率化等により、前年同期比5.3%増の97億円となり、経常利益は、前年同期比3.8%増の106億円となりました。また、四半期純利益は、期初より見込んでおりました事業ポートフォリオ見直しに係る一時的な費用の計上等があり、前年同期比11.3%減の81億円となりました。



基本事業戦略の推進状況及び人を大事にする施策について

国内のITマーケットは近年成熟期を迎えており、競争が一段と激しくなる一方、ITサービスニーズはますます多様化、高度化しております。

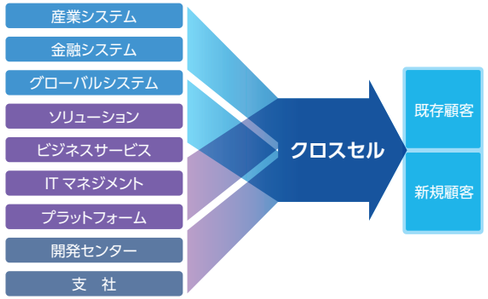
このような事業環境の下、更なる成長を目指し、住商情報システム株式会社（“SCS”）と株式会社CSK（“CSK”）の2社が合併し、2011年10月に当社が誕生いたしました。新会社としてのスタートにあたり次の3つの基本事業戦略を核とする中期経営計画を策定し、計画の達成にむけ各施策を積極的に推進してまいりました。

❶ クロスセルの推進　❷ グローバル関連ビジネスの拡大　❸ クラウド関連ビジネスの拡充

ここでは、これらの施策の推進状況に加え、当社が現在注力している、人を大事にする施策についてもご説明いたします。

クロスセル戦略の推進状況

クロスセルについては、当初は合併2社のサービス・商品の相互提供が主でありましたが、合併後の組織融合を経て、現在は複数の事業部門をまたぐ組織横断的な複合提案を中心に活動しております。当上半期においても、各部門のエクスパティーズ（専門技術・知識）を組み合わせ、付加価値を高めたサービスを提供しております。



事例 >>

- 関西地区の地方公共団体に対し、当社のITマネジメント、プラットフォームソリューション、開発センター、産業システムの4事業部門の各々が得意とするサービスを組み合せた統合ソリューションを提案し、基幹システム再構築案件を受注。
- 九州地区の大手顧客向けに、当社のソリューション、プラットフォームソリューションの2事業部門が連携した提案を行い、ビッグデータ関連サービスを受注。

グローバル戦略の推進状況

現在、多くの日本企業が海外事業を積極的に展開するなか、高度なグローバルITシステム、海外における高品質なITサービスが求められています。これらの日本企業のグローバル展開に伴って国内市場の枠を超えて拡大していく市場、これを当社では「グレータージャパニーズマーケット」と定義し、取り組みを強化しています。

住友商事をはじめとするグローバル企業のITサポートでの経験、実績をベースにした、日本の高い品質に裏打ちされた安心と信頼のITサービスで、当社はグローバル展開を目指す日本のお客様を積極的に支援してまいります。なお、中期的な目標として、3年から5年で、総売上高の10%のグローバル関連売上高を目指しております。

◎ グローバルネットワーク

事例 >>

- 大手電子部品メーカー向けに、国内で構築・運用している生産管理・販売管理・品質管理等の基幹システムに関する同社の全海外拠点への導入支援案件が進行中。
- 総合家電メーカー向けにはグローバル財務関連のシステム開発案件、自動車部品メーカー向けには原価管理システムの海外展開、メガバンク向けには国際勘定系システムの再構築案件等様々な案件を獲得。

クラウド戦略の推進状況

クラウドビジネス市場の拡大の背景には、「ITシステムの所有」から「ITサービスの利用」というパラダイムシフトがあります。当社では、増加するお客様のクラウドサービスニーズに応えるべく、データセンターサービスを拡充すると同時に、システム開発及びBPO等にて培った業務ノウハウを融合し、クラウド時代にふさわしいサービス提供型ビジネスを積極的に展開しております。また、BCP（事業継続計画）やディザスターリカバリー（災害復旧）の観点からも、クラウド・データセンター等のサービスへの引合いは非常に活況であり、これら需要の増加に対応するため、関東地区に新データセンターの建設を進めております。

なお、クラウド関連事業の売上高は、数年内に500億円規模を目指しております。

事例 >>

- 大手家電量販店向けに、当社の開発したクラウドサービスである従量課金型のITインフラサービス基盤「USiZE」を活用したEC（電子商取引）統合システム案件を受注。
- 銀行業向けのディザスターリカバリー・バックアップセンター運用案件、並びにUSiZE利用による官公庁向けの公営住宅の管理システムや製造業向け連結会計システム等の運用案件を多数受注。

◎ netXDC（ネットエックス・データセンター）の地域展開

人を大事にする施策

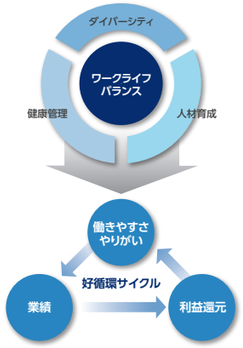
当社の経営の根幹は「人」であり、「人を大事にすること」は当社グループの経営上最も重要なテーマの一つであります。そのような課題認識のもと、昨年来一連の経営施策として「働きやすい、やりがいのある会社」への環境整備を集中的に推進しております。

具体的には、中長期的な企業の成長を担う人材を育成すべく、エンジニアの専門性認定の上で専門能力開発育成をエンジニア個人のレベルで推進するとともに、海外現地法人でのOJTや海外企業への派遣、国内外の語学研修等を通じてグローバル人材の育成にも力を注いでおります。また、社員の自発的・自主的な成長を促す仕組みとして人材公募制度や海外トレーニー制度、あるいは中長期的なキャリア開発のための仕組みや組織づくりとしてキャリア開発プログラムやキャリアアドバイスセンターの設置・運営を行ってまいりました。併せて、労働環境整備の一環として、有給休暇の100%取得や残業削減のための施策「スマートワーク・チャレンジ20」を積極的に推進しております。

なお、これらの着実な取り組みが評価され、本年10月には、厚生労働大臣より「キャリア支援企業表彰2013～人を育て・人が育つ企業表彰～」の表彰企業に選定され、また、日本経済新聞社が実施した2013年の「人を活かす会社」調査においても、当社は総合ランキング2位となりました。

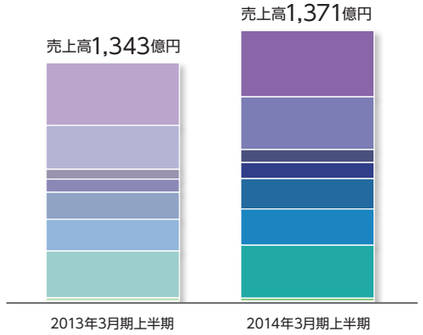
当社としては、今後も人を大事にする施策を積極的に継続実施し、将来の収益基盤、そして企業としてのクオリティの向上に結び付けていく所存であります。

◎ 働きやすい、やりがいのある会社への環境整備のイメージ



セグメント概要

〈 セグメント別売上高・構成比 〉

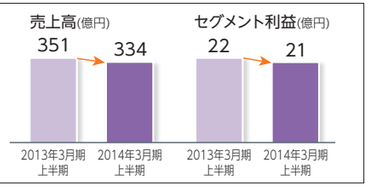


● 2014年3月期上半期	売上高	構成割合
産業システム	334億円	24.4%
金融システム	266億円	19.4%
グローバルシステム	64億円	4.7%
ソリューション	81億円	6.0%
ビジネスサービス	153億円	11.2%
ITマネジメント	183億円	13.4%
プラットフォームソリューション	267億円	19.5%
プリペイドカード	14億円	1.1%
その他	3億円	0.3%

産業システム

主な事業内容 製造、サービス業向けシステム開発他のITサービスの提供

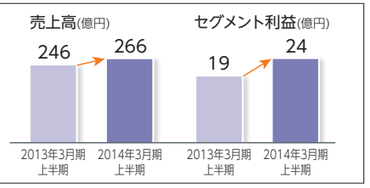
昨年来の流通業並びに通信業向けの大型案件の反動減の影響等により、減収減益となりました。



金融システム

主な事業内容 金融業向けシステム開発他のITサービスの提供

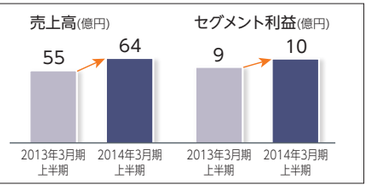
銀行業及び生損保業向の経営統合関連の開発案件等が順調に推移し、増収増益となりました。



グローバルシステム

主な事業内容 日系企業のグローバルITシステム構築他のITサービスの提供

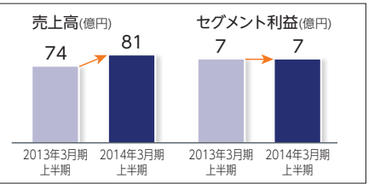
流通業向けを中心にグローバルシステム関連の開発案件が順調に推移したことにより、増収増益となりました。



ソリューション

主な事業内容 基幹系システム・パッケージソフトの提供及び関連システムの構築

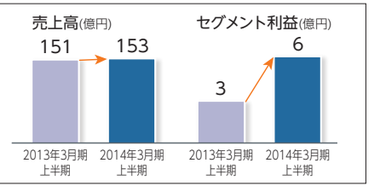
ERP関連のアプリケーション開発・保守案件等が順調に推移したことにより、増収となりましたが、一部案件における収益性低下等の影響により利益水準は横ばいとなりました。



ビジネスサービス

主な事業内容 BPOサービスの提供

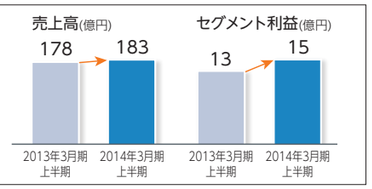
スマートデバイス関連のテクニカルサポート及びカスタマーサポート案件等が堅調に推移し、併せて収益性の改善も進んだことにより、増収増益となりました。



ITマネジメント

主な事業内容 クラウド・データセンター・IT基盤構築サービスの提供

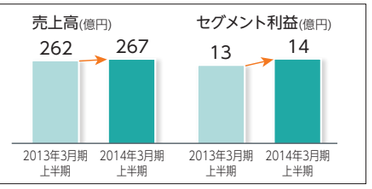
クラウドサービス及びデータセンターサービスを含む各種保守運用サービス案件が堅調に推移したことにより、増収増益となりました。



プラットフォームソリューション

主な事業内容 ITハードウェア・ソフトウェアの販売

自動車業向けプロダクトの販売、ネットワーク機器販売等が好調に推移したことに加え、経費効率化等の影響もあり、増収増益となりました。



プリペイドカード

主な事業内容 プリペイドカードの発行・精算、カードシステム開発

プリペイドカードの発行・精算及び関連ビジネスは堅調に推移しましたが、前年同期に計上された一過性の資金運用益の反動減により売上高は前年同期比22.0%減の14億円、セグメント利益は前年同期比83.8%減の0.9億円となりました。

連結貸借対照表／連結キャッシュ・フロー計算書

連結貸借対照表（要旨）

（単位：億円）

科　目	前連結会計年度 2013年3月31日	当上半期 2013年9月30日
資産の部		
流動資産	2,086	1,990
固定資産	1,142	1,116
有形固定資産	562	560
無形固定資産	76	73
投資その他の資産	502	483
POINT❶ 資産合計	3,228	3,107
負債の部		
流動負債	1,598	1,423
固定負債	547	533
POINT❷ 負債合計	2,146	1,957
純資産の部		
株主資本	1,023	1,086
資本金	211	211
資本剰余金	30	30
利益剰余金	867	929
自己株式	△ 86	△ 85
その他の包括利益累計額	4	9
新株予約権	1	1
少数株主持分	52	52
POINT❸ 純資産合計	1,082	1,149
負債・純資産合計	3,228	3,107

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：億円）

科　目	前上半期 2012年4月1日～9月30日	当上半期 2013年4月1日～9月30日
POINT❹ 営業活動によるキャッシュ・フロー	108	169
POINT❺ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 17	△ 18
POINT❻ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 76	△ 258
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	1
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	14	△ 105
現金及び現金同等物の期首残高	636	832
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△ 0	–
現金及び現金同等物の四半期末残高	650	727

POINT

❶ 資産合計

前連結会計年度末に比べ121億円(3.8%)減少し、3,107億円となりました。

❷ 負債合計

主に新株予約権付社債の償還により、前連結会計年度末に比べ189億円(8.8%)減少し、1,957億円となりました。

❸ 純資産合計

前連結会計年度に比べ67億円(6.3%)増加し、1,149億円となりました。

❹ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、増加した資金は169億円(前年同期比61億円増加)となりました。

❺ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、減少した資金は18億円(前年同期比1億円減少)となりました。

❻ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、減少した資金は258億円(前年同期比181億円減少)となりました。

CSRへの取り組み

社会的課題の解決を通じて「夢ある未来を、共に創る」

SCSKのCSR

SCSKは、社会を支えるITサービスで、さまざまなステークホルダーの皆様と共に、社会の諸課題を解決してまいります。また、より良いCSR活動の推進のために、社会的責任の国際規格であるISO26000を活用しています。

活動の詳細は、ホームページをご参照ください。
http://www.scsk.jp/corp/csr/index.html

国連グローバル・コンパクトの支持

SCSKは、国連グローバル・コンパクトに参加しています。国連グローバル・コンパクトの「人権・労働・環境・腐敗防止」に関する10原則を支持し、実践しています。

働きやすい、やりがいのある会社

SCSKでは「働きやすい、やりがいのある会社」を目指し、労働環境の整備を進めています。その一環として、2013年4月から、「スマートワーク・チャレンジ20」という取り組みを始めました。

「スマートワーク・チャレンジ20」とは、社員の健康増進を目的とするとともに、❶業務の効率化や生産性の向上を図る ❷積極的にリフレッシュや自己研鑽を図る ❸更なる生産性の向上に繋げる という好循環のきっかけを作る取り組みです。「年次有給休暇取得日数20日（当年度付与の100%消化）」と「平均月間残業時間20時間（前期比平均20%低減≒1日平均20分減）」を目標としています。

社会貢献活動 CAMP

CAMP（Children's Art Museum & Park）は、ワークショップでの創作体験や共同作業、作品の発表を通じてこどもたちの「共に創る力」を育む活動です。2001年のスタート以来、こどもたちの創造性やコミュニケーション力を引き出すさまざまなワークショップを開発・実践すると共に、全国への普及に努めてきました。

この度、公益社団法人企業メセナ協議会により、企業・企業財団・団体などの優れた文化活動を顕彰する「メセナアワード2013」において、社会創造の実践活動として高く評価され「学びの玉手箱賞」を受賞しました。

「メセナアワード2013」受賞

株式の状況 (2013年9月30日現在)

株式の総数

発行可能株式総数 …… 200,000,000株　　発行済株式数 …… 107,986,403株

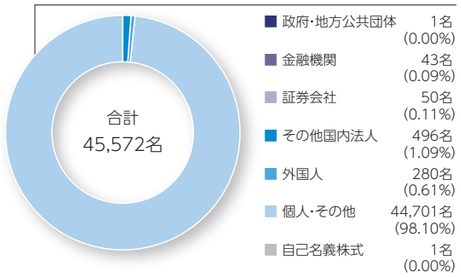
大株主

株　主　名	持株数(株)	持株比率(%)
住友商事株式会社	52,697,159	50.69
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,558,000	5.35
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,344,600	5.14
SCSKグループ従業員持株会	2,763,214	2.66
三井住友信託銀行株式会社	1,261,300	1.21
野村信託銀行株式会社(投信口)	1,053,000	1.01
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,052,100	1.01
株式会社アルゴグラフィックス	1,015,500	0.98
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	915,430	0.88
THE CHASE MANHATTAN BANK, N.A. LONDON SECS LENDING OMNIBUS ACCOUNT	803,173	0.77

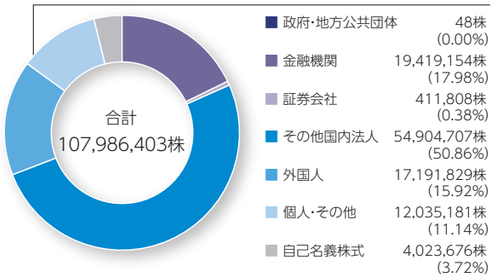
(注) 当社は、自己株式4,023,676株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は発行済株式の総数から自己株式を控除して計算しております。

株式分布状況

株主数構成比(名)



株式数構成比(株)



経営理念

私たちの使命

夢ある未来を、共に創る

お客様からの信頼を基に、共に新たな価値を創造し、夢ある未来を拓きます。

私たちの3つの約束

人を大切にします。
一人ひとりの個性や価値観を尊重し、互いの力を最大限に活かします。

確かな技術に基づく、最高のサービスを提供します。
確かな技術とあふれる情熱で、お客様の喜びと感動につながるサービスを提供します。

世界と未来を見つめ、成長し続けます。
全てのステークホルダーの皆様とともに、世界へ、そして未来へ向けて成長し続けます。

事業内容

システム開発、ITインフラ構築、ITマネジメント、BPO、ITハード・ソフト販売等

役員 (2013年9月30日現在)

取締役会長兼CEO ※1 …… 中井戸信英
取締役社長兼COO ※1 …… 大澤善雄
取締役 …… 鎌田裕彰
取締役 …… 栗本重夫
取締役 …… 鈴木正彦
取締役 ※1 …… 鈴木久和
取締役 …… 古沼政則
取締役 ※1 …… 熊崎龍安
取締役 …… 谷原徹
取締役 …… 鳥山悟
取締役 …… 市野隆裕
取締役 …… 福永哲弥
取締役 …… 山崎弘之
取締役(非常勤) ※2 …… 内藤達次郎
取締役(非常勤) ※2 …… 眞下尚明
取締役(非常勤) ※2 …… 渕上岩雄
常任監査役 ※3 ※4 …… 髙野善晴
監査役 ※3 ※4 …… 播磨昭彦
監査役 ※4 …… 松田康明
監査役(非常勤) ※3 …… 小川英男
監査役(非常勤) ※3 …… 安浪重樹

※1は代表取締役
※2は法令に定める社外取締役
※3は法令に定める社外監査役
※4は法令に定める常勤監査役

グループ一覧 (2013年9月30日現在)

海　外

Sumisho Computer Systems(USA),Inc.
SUMISHO COMPUTER SYSTEMS(EUROPE) LTD.
住商信息系統(上海)有限公司
住商信息系統(大連)有限公司
Sumisho Computer Systems (Asia Pacific) Pte.Ltd.
百力服軟件測試(上海)有限公司

国　内

ヴィーエー・リナックス・システムズ・ジャパン株式会社
SCSソリューションズ株式会社
株式会社アライドエンジニアリング
株式会社CSKサービスウェア
株式会社ベリサーブ
株式会社CSKプレッシェンド
株式会社CSIソリューションズ
株式会社CSKシステムマネジメント
株式会社JIEC
株式会社CSK Winテクノロジ
株式会社北海道CSK
株式会社福岡CSK
株式会社CSKニアショアシステムズ
株式会社クオカード
株式会社エイトレッド(*)
住商情報データクラフト株式会社(*)
株式会社アルゴグラフィックス(*)
株式会社GIOT(*)

(*) 持分法適用関連会社

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
配当金支払基準日	期末配当金　毎年3月31日 中間配当金　毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告方法	電子公告にて掲載。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
(電話照会先)	0120-782-031
(インターネットホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

免責事項

本報告書は、SCSKグループの業績及び事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、SCSK及びグループ会社の株式購入や売却を勧誘するものではありません。本報告書の内容には、将来の業績に関する意見や予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、現時点の当社の判断に基づいて作成しています。よって、その実現・達成を約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。本報告書利用の結果生じたいかなる損害についても当社は一切責任を負いません。また、本報告書の無断での複製、転記等を行わないようにお願いいたします。

ホームページのご案内

▼ 株主・投資家情報はこちらより

SCSK　検索

http://www.scsk.jp/

SCSK株式会社

〒135-8110
東京都江東区豊洲三丁目2番20号　豊洲フロント

UD FONT
見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

VEGETABLE OIL INK
環境に配慮した「ベジタブルインキ」を使用しています。